

「中国地域経済の概況 2024」の記載内容（主な項目）

< I 経済の概況 >

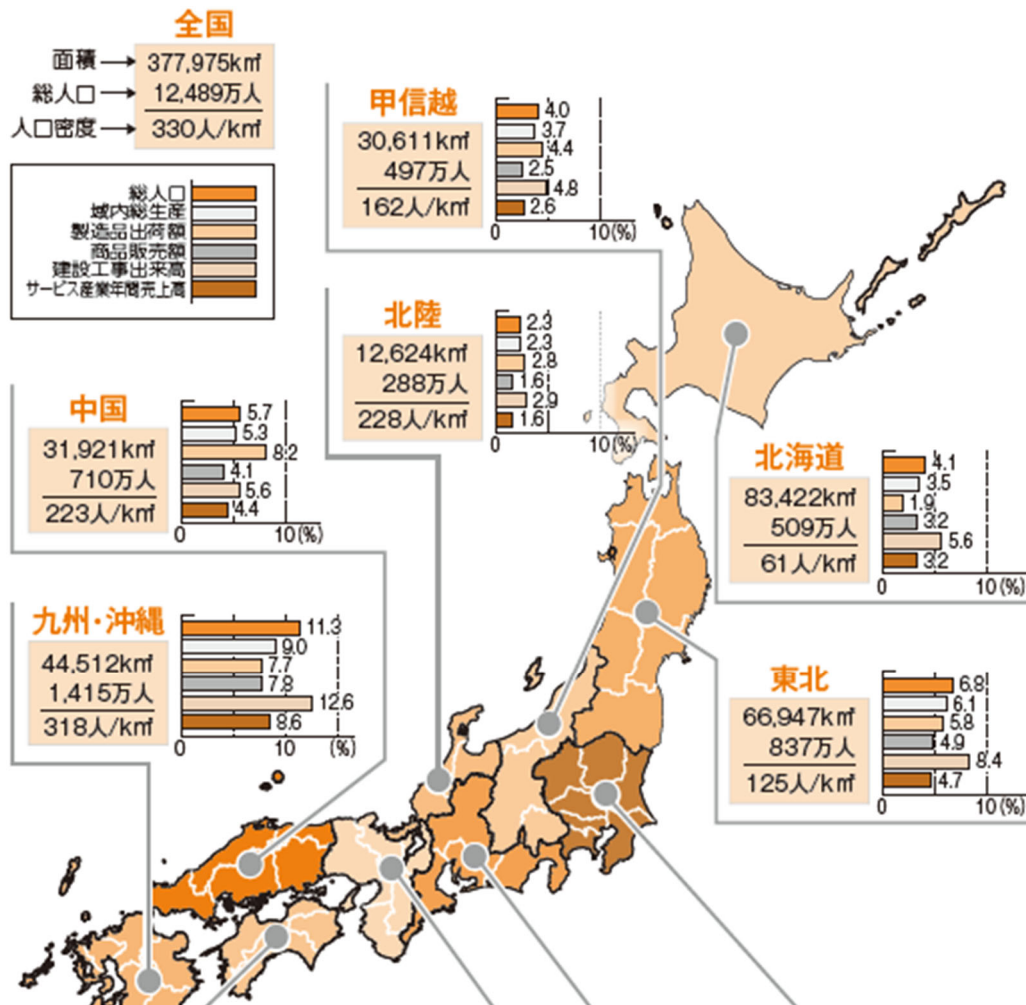
○2023年の中国地域経済

2023年の中国地域経済は、個人消費や設備投資を中心に緩やかに持ち直したものの、物価上昇の影響を受けて回復は力強さを欠く動きとなった。

○中国地域経済の特徴

中国地域の人口・経済規模の全国シェアは5%台であるが、製造品出荷額は8%強であり、ものづくりの拠点となっている。

【地域別の地域経済指標の全国シェア（一部抜粋）】



(注) 枠内は、上段：面積、中段：総人口、下段：人口密度

資料：国土交通省国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」、総務省・経済産業省「経済構造実態調査」、内閣府「県民経済計算」、国土交通省「建設総合統計」

< II 分野別の概況 >

○人口

2023年の人口動態をみると、自然増減（出生－死亡）のマイナス幅が拡大したことなどから、人口の減少率は1995年以降で最大となった。中国地域からの転出超過数は、コロナ禍の2020年に一旦減少したものの、その後は東京圏、大阪圏を中心に拡大傾向にある。

○観光

2023年の中国地域の外国人延べ宿泊者数は、入国制限解除の影響等から、142.0万人泊（前年比682.4%増）となり、新型コロナの影響を受けた直近3年を大きく上回った。外国人宿泊者の地域別構成比をみると、欧米豪9か国（アメリカ、カナダ、イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン、ロシア、オーストラリア）が、39.8%と全国（23.9%）を大きく上回っている。

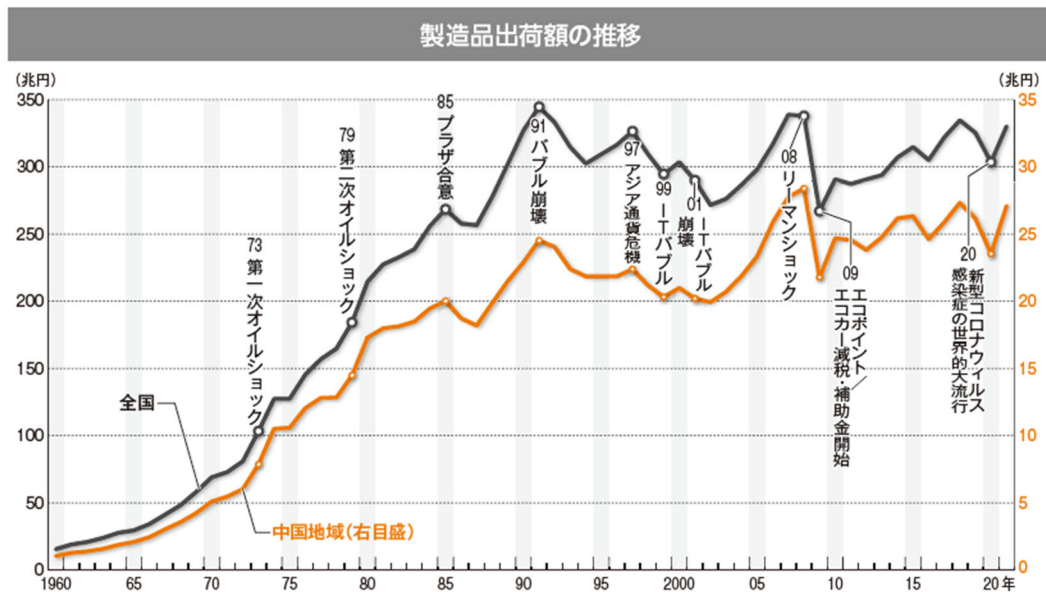
< III 地域振興の概況 >

○都市機能整備

広島市では、Jリーグ・サンフレッチェ広島の新たな本拠地スタジアム「エディオンピースウイング広島」と、スタジアム両側を広場とした「ひろしまスタジアムパーク」が全面開業した。岡山市は、地元プロスポーツチーム支援等を目的とした「多目的屋内施設（新アリーナ）」の基本計画を公表。松江市では、市役所新庁舎の第1期棟が完成し、供用を開始した。

< V グラフで見る中国地域の長期推移 >

人口、経済・産業など主要統計について、長期的な経年変化をグラフで示している。



(注) 全事業所ベース（要件を満たした従業者数3人以下の事業所を含む）
資料：経済産業省「工業統計調査」、総務省・経済産業省「経済センサス・活動調査」「経済構造実態調査」